

一関公共職業安定所千厩出張所の再開を求める意見書

今日の長引く不況によって、一関公共職業安定所には一日平均 500 人くらいの方が訪れ仕事を求めています。加えて、雇用保険給付手続きの日には更に 300 人近い人が増えることから、訪れた人は長い時間待ちとなっています。

一関公共職業安定所管内の雇用保険受給者実人員は 1,559 人で前年同月比 151.5% と大幅に増加しております。一方、3 月の有効求人倍率は 0.32 倍（うち正社員については 0.14 倍）です。この数値は、全国平均 0.52 倍から見ても大きく下回っており、雇用情勢は益々厳しい状況にあります。

加えて、本年 12 月をもってソニーイーエムシーエス千厩テック（本社事業所 一関市千厩町）の事業所閉鎖が示され、5 月 20 日から会社による従業員の意向調査が始まっています。この事業所には、900 人近い従業員が働いており従業員の生活はもちろん、地域経済にあたえる影響は計り知れません。関係機関による、早期退職者に対する一日も早い再就職支援が必要です。

ところが、現在の一関公共職業安定所は、すでに対応が限界となっております。

そこで、一関公共職業安定所千厩出張所の再開を強く要望いたします。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出します。

平成 21 年 5 月 25 日

一 関 市 議 会

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿

雇用環境の悪化を防ぎ、市民が安寧する社会を構築する決議

米国の金融危機に端を発する世界的な景気後退や急激な円高により、わが国経済は輸出産業をはじめ様々な産業分野において影響を受けている。

一関市においても、NECトーキン(株)やソニーイーエムシーエス(株)千厩テックなど数百人規模の事業所閉鎖が相次ぎ、今後さらに景気や雇用情勢の悪化が懸念され、市民の不安が高まっている。

今、国や県、市においては融資制度の改善による中小企業対策や離職者に対する緊急雇用対策事業を実施しているが、まだまだ十分とは言いきれない状況であり、より一層の充実が望まれているとともに、恒常的な雇用対策の実施が求められている。

現下の厳しい財政状況の中ではあるが、市の将来を見据え、資金繰りが悪化している事業者、住まいを失った失業者、さらには社会的弱者に対しても十分に配慮したセーフティネットの構築と雇用の創出に向け、最大限に努力していくことも必要である。

さらに、緊急雇用対策を実施するとともに、国や県に対し、本市の置かれている厳しい経済・雇用情勢を説明し、実情にあった十分な財政支援を求めていく必要がある。

よって一関市議会は、雇用環境の悪化を防ぎ、市民が安寧する社会を構築するため、実効性のある経済・雇用対策を、関係機関や団体とともに市の総力を上げて早期に充実強化していくことを強く求める。

以上のとおり決議する。

平成 21 年 5 月 25 日

一 関 市 議 会